

○総曲輪地区タウンミーティング議事録

日 時：令和6年11月17日（日）

午後2時～4時

場 所：まちなか総合ケアセンター

出席者：25人

テーマ1 富山市の観光施策

<主な説明事項>

- 1 観光の現状と動向
- 2 富山市の状況
- 3 富山市の観光施策
- 4 まとめ

【商工労働部の説明に対する質問】

・私は岩瀬に住んでおり、毎日のようにライトレールに乗っています。ライトレールは15分毎の運行、均一料金ですので、本当にありがたい存在です。最近、コロナ前より県外の人も増えていると感じています。しかし、岩瀬のおもてなしの状況は、少しそっけない感じがします。富山駅で日中、新幹線で来た人にお昼ご飯をどうするか聞いたところ、岩瀬は予約が必要な高級な店ばかりで夜しかやっていないので、お昼は駅周辺で済ませた方がいいのではないかと言われたということです。富岩水上ラインも（岩瀬行きは）午前、午後1便ずつしか運航していません。

また、富山駅の観光案内所で、岩瀬の「まち歩きマップ」を配っていますが、どちらが海なのか、どちらが富山の方向なのかよくわかりません。観光案内所で、道を赤鉛筆で書いて渡しているそうです。岩瀬は街並みだけではありません。本当は海や港を見て欲しいのです。

岩瀬浜駅は駅舎がありませんし、東岩瀬駅は無人駅です。特に、大町通りから東岩瀬駅へ帰って来る人も多いのですが、旧駅舎の裏に富山行きのホームが隠れていて見えません。線路を渡って、駅舎の裏へ回り込まなければならないというのは、初めての人には絶対わかりません。

海が見えるところといえば、馬場家の2階に上がるか、展望台は高さ20メートル100段の階段を上らなければなりません。私も途中までは行けますが、あとは嫌になります。雨晴海岸（の施設）はエレベーターで2階へ上がれます。岩瀬全体の公共施設が40年50年ほど前のものではないかと思います。リフレッシュされていません。最近の観光に合っていない気がします。観光という面だけではなく、海を見たいという人は（地元にも）結構います。9月末の暑い日に、ベビーカーを押した若い夫婦が、3日連続夕日に向かって歩いていました。

（市長）

観光客に優しくない、ルート案内を工夫した方がいいのではないかと、展望台などの施設を障害のある方、年配の方にも配慮しなければいけないというご意見だと思います。岩瀬は新鮮な魚がたくさんとれますし、気軽に食べられる飲食店もあります。そういうこともわかるようにしたらいいというご意見もありました。

岩瀬は北前船で栄えた町で、森家、馬場家など古き良きものがたくさん残っていますし、まちづくりを頑張っておられて新たな魅力も加わっています。富山市としては大変重要な観光スポットと位置付けていますので、しっかりとご意見を生かしていきたいと思います。

・観光に関する施策の説明を受けて、一生懸命頑張っておられることを感じ、その努力に感謝します。提案ですが、富山にはプロスポーツがあります。例えば、カタール富山については、試合を3回ほど見に行きまして、3回とも5,000人以上の観客数、あるときは9,000人ほどですばらしいと思いました。富山グラウジーズは、今度Bプレミア参入が決まり観客がたくさん来ているということです。県外から

来た人は（試合を見たら）すぐに帰ってしまうと思いますが、一泊して富山を見学していけばリピーターに繋がる可能性があります。プロスポーツを生かしていくことが、富山市や富山市民を元気づける1つの起爆剤になるのではないかと思います。

今、サッカー協会では、新しいスタジアムをどこにつくるか検討していると聞いています。私としては、お城の中でもいいと思いますし、五福の陸上競技場のあたりにつくれば、富山駅から市電で行けるので、観光の目玉にもなるのではないかと思います。どのような考えかお聞かせください。

また、地域の観光を支えるためには、それを支える人づくりが大事だと思います。観光客は、いいものがあってもただぼーっと見て素通りしてしまうと頭に残らないし、また来ようという気持ちにならないです。例えば、お城の中を案内するボランティアを募ったり、語学に達者な人が外国人を案内すれば、来た人は富山っていいところだなと思ってくれるのではないかと思います。

(市長)

カタレ富山も富山グラウジーズも頑張っています。交流人口を増やすというまちづくりの観点で、また富山市民の元気や青少年の育成のために、プロスポーツチームを応援し、サポートしていきたいと思っています。富山市では、富山市総合体育館のトイレや空調設備などをお客さんが快適に使えるように改装します。

カタレ富山のスタジアム構想については、サッカー協会や関係者からご意見を聞いています。実現可能かどうか検討し、しっかりと対応していきたいと思っています。

観光を支える人づくりというのは非常に大事です。観光案内する方の人数はまだまだ少ないので、民間の方やボランティアの方も含めて、育ててまいりたいと思っています。

・私は、富山市認定の「くすりの語り部」の3期生です。今卒業生は5期生まできており、かなりの人数になっています。先ほど（まちなかケアセンターの）隣の部

屋で勉強していました。なぜ勉強しているかという、せっかく富山市の研修を受けたのですが、行き場がないというか、やることがないので、このままふらふらしていてもまずい、もう少し深掘りして学び直そうということで、有志が月に1回集まっています。きっかけは、駅北にくすり施設ができるということが今年2月に報道されたことです。くすり施設ができたら、私たちの活躍の場ができるのではないかと思い、しっかり学び直そうということで今10人ほど集まっています。富山市にも了解を得ながら活動しています。しかし、そのくすり施設の話が報道以来、パタッとなくなりまして、富山市に聞いてもなかなかその進捗状況がわかりません。進捗状況や具体的なことがわかれば、教えてください。私たちも励みになります。と思います。

(市長)

駅北のアーバンプレイス、オーバード・ホールのあるビルですが、その3、4階にあったワンダー・ラボという北陸電力の施設の空きスペースで、くすり関連施設を富山市が主体になって作ることにしました。薬産業の振興だけではなく、観光施設として、あるいは青少年に富山の薬の歴史を正しく知ってもらうために、どういう内容にするか、薬業界に相談しながら検討しています。時期については決まっていますが、完成した時はくすりの語り部の方々が一翼を担っていただけていると思います。

しかも今、民間企業が富山市内に、新型コロナウイルスワクチンのようなワクチンを製造できる工場を建設中です。最先端のバイオ医薬品、そして有事のときにはワクチンも作れる施設、しかもアジアの拠点になるという施設が富山市にできるわけですから、歴史の長い配置薬から最先端の薬まで、くすり関連施設で大いにPRし、子どもたちにもしっかり伝えていきたいと思っています。そのときはぜひお願いします。

・皆さん、富山の歴史をしっかりと認識されていないということに気づき、非常に残念な思いです。富山市の庁舎がどこに立ってるかということも知らない職員の方が大半になっています。

皆さんご存じですか。東京都がオリンピックのときに、日本橋川に高速道路の橋をかけて60年以上経ちました。東京都知事が、松川の自然の美しさにびっくりして、日本橋川にかかる高速道路の橋を撤去することを決定し、地下へ持っていく建設を始めました。

私たちは松川という大変すばらしい財産を持っています。松川が神通川の名残を残したからです。県庁や市役所、電気ビル、上流に行くと、サンシップや中部高校、芝園小・中学校、下流は郵便局や地鉄ビル、この一帯全部神通川だったのです。このことをなぜ市は職員にさえ教えないのか、不思議でなりません。歴史は戦国時代にさかのぼりますが、神通川の外堀に富山城を築き、神通川では富山港から富山城まで帆船が行き交っていました。このことを富山市は全く市の職員に説明していません。驚くべきことです。

今全国から、この水の都、松川を見に来られます。美しい景色を見て、これでは自分たちのまちは勝てないと驚いて帰られます。遊覧船を自分たちのまちの川に浮かべたいということで、北は北海道小樽、岩手県盛岡市、新潟、島根と、全国に飛び火しています。これほどまで松川が影響を与えています。でも地元の方は、市役所がかつての神通川の上に立っているということさえ知りません。歴史を失ったまちは滅びると言われています。私は非常に懸念しております。

(市長)

貴重なご意見をいただきましたので、富山市の歴史を職員と一緒にしっかりと学びたいと思います。ありがとうございました。

テーマ2 富山市の上下水道事業の経営状況

<主な説明事項>

- 1 上下水道事業管理者あいさつ
- 2 富山市上下水道局の主な取り組み
- 3 水道事業・下水道事業の収支
- 4 能登半島地震における被害と今後の地震対策

【上下水道局の説明に対する質問】

・下水が浜黒崎の処理場まで、川に流出することなく処理されていることは、富山市の努力によるものだと思います。今日、言いたかったのは、富山城のお堀のことです。富山城の近くにずっと住んでいますが、20年ほど、糞をまいたような白色の、魚1匹いないお堀となっています。観光客も富山城に来ますが、お堀は無視されます。観光の目玉になっているのに20年も放置して、いつになったら綺麗な魚のいるお堀にしてくれるのでしょうか。どこが窓口なのかわかりませんが、いつか市役所の方をお願いしたいと思っていました。皆さんも同じ気持ちを持っていると思います。

(市長)

以前は、下が泥の状態で、まさにヘドロのかたまりでした。今はセメントで固め、シート張りしています。循環という面でうまくいってないというのは、お庭を管理されている会社などからよく意見を聞いていますので、今のご意見も生かしながら、どうすればもっと綺麗な、魚のすめるようなお堀になるのか検討していきたいと思っています。

・私の父や祖父から聞いていましたが、大手町は沼地でした。それもあって地盤がゆるいので、今回の地震でそれなりの被害を被ったのですが、大手町の下水管が戦後復興第1回目から変わっていません。おそらく200ミリの陶管(とうかん)では

ないかと思えます。老朽化した下水管がまだ復旧されていないということと、今回の地震でまちなかの下水道管はどうなっているのか、先ほどの話ではしっかりしているということでしたが、詳しくお聞かせください。

(上下水道局長)

この地区を含むエリアについては、雨水と汚水を一体的に排水する合流式下水道となっています。合流式下水道につきましては、雨水を排水する量が作られた当時の計画よりも増えていますので、老朽化対策と合わせて浸水対策も進めなければいけません。今松川貯留管の整備と合わせて、徐々に対策を進めています。

近年は、耐震化もしなくてははいけません。松川貯留管は旧の図書館から西町交差点までL字のように入っていますし、それにつなぐ（浸水対策）導水管が、平和通りのあたり、護国神社の方にも伸びています。平和通りに合流式下水道の幹線が、数か所横断していますので、そこから松川貯留管に繋いでいる状況です。平和通りから南の方に向かって、老朽化対策と合わせて、浸水対策や耐震対策を徐々に広げています。ただ、新設と違いまして既存管を移設しながらの工事ですので、非常に進捗が遅いことが難点ですが、計画的に現在進めているところです。

・最近、小学校のグラウンドの下にある、災害時の水の耐震性貯水槽の工事を見ました。他の県では、水道管が破損した、洪水で大変だという話をよく聞きますが、富山県は幸いあまりそういう話はないので本当にありがたいことだと思います。石川県は能登島まで手取川の水を引いてきているそうで、びっくりしました。また、東京の荒川も暴れ川で今でも対策を講じているというのをテレビで見ました。他の県と比べると、富山県は本当に水には恵まれた県だと思います。

疑問に思っていることですが、富山の水は良質な水としてモンドセレクション7年連続受賞しているのですが、スマートフォンには一番おいしい水が、鳥取県の大山（だいせん）の水だと出てきました。なぜ富山県が一番ではないのかと思って、富山駅の薬品会社の売店の人に聞いたら、富山県の水はいろんな業者がそれぞれの

ブランドで出していて、統一した富山県の水と言っていないのが弱みだと言われました。それは本当ですか。

(市長)

富山県や富山市は、水が豊富です。これは本当に宝だと思います。富山の水をブランド化するために、富山市の水道水をペットボトルにして、フランスのモンドセレクションに出品して、10回金賞を受けています。そのうち最高金賞は、5回以上受けています。これもあまり宣伝していないので、知る人ぞ知る、富山市の水道水となっています。輝かしい功績の富山市の水道水で、皆さんトイレの水を流しているということです。外国の方から見ると、もったいないことをしているという話なので、水道水も含めて、富山の水の良さをPRしていきたいと思います。

小学校の飲料用の貯水タンクは、市役所の方で適切に管理していきますので、いざというときに、皆さんが飲めるようにしたいと思います。

・最近、新聞で水道水のPFAS（ピーファス：有機フッ素化合物）の汚染の件が出ています。また、庄川水系ですが、富山市内の業者が廃棄物の最終処理場を作るという話題もありました。富山市の場合は常願寺水系なので大丈夫かと思いますが、それについてお聞かせください。

もう1点、国内で、水道事業の民営化、なおかつ外資が参入するという動きもあります。「命の水」ですので、私はぜひ市営でやっていただきたいと思っています。モンドセレクションの水道水を輸出するなどしてしっかり稼いで、水道料金を維持してほしいと思います。

(市長)

水は責任をもって市でしっかり管理していきたいと思っています。民間のノウハウの方が高い部分もたくさんありますので、そういうものもうまく取り入れながら運営していきたいと思っています。

富山市の水道料金は、全国平均よりも随分安い方です。値上げしないように、今耐えているところですので、ご理解いただきたいと思います。

(上下水道局長)

PFASの問題ですが、今、国の方でも基準策定などいろんな動きが出ています。上下水道局としては、しっかり情報収集しながら対応していきたいと考えています。

【その他意見交換】

・大手町は中小のお店が多く、外国人などにどう対応したらいいのか難しいという問題があり、これだけお客様が多いのにもったいないと感じています。私の店にも、特に今年の春から夏にかけて、欧米の方々が結構入って来て驚きました。私が運営する大手市場のトランジットモールでは、インバウンドの方々はそれほど多くないので、一番の問題は言葉だと思っています。私も近隣の商店主を集め、英語の講座を講師を招いて2回開きました。接客英会話は一般の英会話と少し違う部分もあり、どんなふうに勉強したらいいのか模索しながらやっています。そういったときに、講習料や会場費などの部分を助けていただけないかお尋ねしていたのですが、そういう補助のメニューは今はないということでした。県には、旅行業者向けの価格の大きなメニューはありましたが、私たちのような小さな集まりには当てはまりませんでした。これだけインバウンドの方々は多くなっているのに、中心商店街が歓迎ムードを作っていくことに関して、何か対策を考えていただけたらと思います。

(市長)

的確なご指示をいただいたと思います。私も昨日、イタリアの方が来られたので、スマホで翻訳機能を駆使して話をしていましたが、やはり人間同士が片言でも話をしたり、紙に書いて筆談したりした方が伝わると思います。おもてなしの心が伝わ

れば、ご商売にも直結するでしょうし、富山市民からあたたかい接客を受けたということになるでしょう。

スマホなどの翻訳機能は非常に便利で、世界数十か国の言葉を1つのアプリで翻訳できますので、こういうものを使う方法もあります。商売や宿泊、入管、出国手続き、ホテルでの会話、レストランでの注文、いろいろ出ていますのでその使い方も含めて、外国人接客講習など何かできないか検討したいと思います。

越中大手市場は長年やっていただいて、大変多くの方が来るようになって、すごくいいと思っています。そこに外国人の方も来て楽しんでいただければ、もっと私たちが誇れるものになるのではないかと感じます。

・平成元年、学校開放が始まってから、旧総曲輪小学校の体育館で空手を指導しています。旧総曲輪小学校だけの話ではないと思いますが、照明が水銀灯で、この水銀灯はもう作られていないということです。旧総曲輪小学校に今2個残っていますが、これがなくなったらどうしたらいいのでしょうか。私たちは午後7時から9時まで空手を指導していますし、他のクラブも利用されており、1週間大体埋まっています。

また、能登の震災のときに体育館に駆けつけて思ったことですが、災害のとき、光がなくなったら、どうしたらいいのでしょうか。私たちにとってはここが避難所になっているので、ここに逃げ込むしかありません。また、冬ならストーブを出すこともできますが、夏はどうしたらいいのでしょうか。今年のような猛暑でしたら、熱中症でダブルパンチを食らうのではないかと考えています。それについて考えをお聞かせください。

(市長)

体育館や富山市が管理する公共施設の水銀灯については、順次LED化しています。旧総曲輪小学校体育館は避難所に指定してありますので、担当課に確認します。水銀灯は製造中止になっていますので、できるだけ早く入れ替えたいと思います。

空調については、教育委員会ですべての学校の体育館を調査しています。ご存じのとおり、体育館はどれだけ冷房や暖房をいれてもなかなか効きません。人の周辺を涼しくしたり暖かくしたりする装置は後から持ち込むこともできますので、今、防災危機管理部で避難所にどんな設備がいるのかを議論して、快適な避難所のあり方について検討しています。すべての地域に共通する話だと思いますが、総曲輪でご意見があったことをしっかりお伝えしたいと思います。

・去年から富山市に住んでいます。それまでは東京と埼玉に住んでいました。富山市に住み始めて気が付いたことを話します。

①富山の看板などがローマ字の記載がないので読めません。外国人が富山に来たとき、どこにいるのだろうと思っても、まさに人がいないのでなかなか聞けないです。例えば、11月3日文化の日に富山城へ行ったとき「無料開放」と書いてありました。外国人は読めないで、私が英語で「今日フリーなんだよ」と教えたら、喜んで富山城へ歩いていきました。

②外国人は、富山県がどこにあるか知らない人が多いです。私は専門学校で教えていたとき、「富山県がどこにあるか分かる人」と聞いたのですが、1クラス40人中誰も分からなかったです。中国人は、富山県を富士山と勘違いしていました。

③交通については、電車代が高いと感じます。例えば、埼玉の川越から新宿まで片道500円ほどで行けるのに、同じ距離で金沢から富山まで片道1,200円ほどかかります。池袋では、一番後ろの席で車椅子の出し入れができる小さなバスが巡回しています。そのような、100円から200円程度で観光地から観光地まで移動できるミニバスがあるといいと思います。

④先ほどプロスポーツの話がありましたが、バスケやサッカーなどの試合後やコンサートの後にホテルに泊まってもらうために、チケットとホテルをセットにして安く販売する、そしてプチ観光もくっつけるなどすれば、お客さんは富山に来やすいのではないかと思います。

⑤埼玉にはショッピングモールがたくさんありますが、富山にはファボーレしかありません。民間の施設をたくさん誘致すれば、住みやすいまちになり人口も増えると思います。また、富山市だけではなくて、観覧車がある魚津の遊園地とタイアップして、昭和の「エモい」まちめぐりをするのはどうでしょうか。今まであった良さを生かしながら、新しいものにも少しお金を出していくという発想で考えたらどうかと思います。

⑥こちらに引っ越してきて怖いと思ったのが、用水路への転落死亡事故です。関東ではあまり聞いたことがありません。子どもが落ちないようにはどうすればいいのか考えないといけませんし、用水路にペットボトルが落ちて海に流れていくと、魚への影響がありますので、それについても今後考えていきたいと思っています。

(市長)

富山に住んでみてわかったことやご指摘をいただきました。私たちが鈍感になっている部分もたくさんあると思います。しっかり承って市役所に持ち帰って考えます。これからもいろんな意見を聞かせてください。

・私は40年ほど前に郷土史家の方から、富山は滝廉太郎が育ったまちだと聞きました。23歳10カ月という若さで亡くなりましたが、滝廉太郎が作曲した「お正月」、「雪やこんこん」、「荒城の月」、「花」、「箱根八里」などを知らない日本人はいないと思います。

それで、昔、滝廉太郎ゆかりの地として非常にPRしている大分県の竹田市へ参りました。お会いした観光課の課長が、滝廉太郎が少年時代富山で育ったことを検証し、ブロンズ像を小学校の跡地につくるため、富山へ行ったことがあると言われました。しかし、発起人の10人が全員九州出身の方で、富山の人が1人も入っていませんでした。滝廉太郎のお父さんが副知事に任命され、家族で富山に来て約2年間生活しています。竹田市には2年5カ月住んでいたので、期間はそれほど変わりません。日本を代表する作曲家、滝廉太郎が富山市

に住んでいたということ、富山市民が全く検証活動をしていない。その価値がわからない市民であると言われたように感じました。

何とか、当時の中沖知事や正橋市長に賛同され、ブロンズ像を富山で作りました。また、滝廉太郎が2年間、現在の丸の内にあった県の官舎で過ごされたので、そのことを市民に知っていただければということで、2年ほど前に案内板を立てました。

滝廉太郎は21歳のときに10カ月ほどドイツのライプツィヒというまちの音楽学校へ留学しました。そのまちは、滝廉太郎が10カ月住んでいたことを誇らしく思い、それを内外に知らせたいということで、住んでいた通りにブロンズ像を建てました。そのニュースを知ってびっくりしました。同時に、富山市は全くそういったことがわからないまちなのかと悔しく思いました。

富山城に行ったとき、石垣の前で荒城の月を歌っている方がいました。富山城は滝廉太郎が「荒城の月」を作曲する際に、モデルにした城だと知って神戸からきたとのことでした。なぜそれを知ったかという、新幹線の椅子の背もたれにある冊子に、富山市は滝廉太郎が育ったまちだという記事が紹介されていたからだそうです。富山市よりJRの方が一生懸命PRしています。文化のわからない町は、国際的に相手にされなくなっていくと思います。自分たちのまちの歴史をもっと知って、自分たちのまちを誇れるようにしていただきたいと思います。

※発言の一部を整理して掲載しています。(広報課)